

日本原子力学会炉物理部会 第 29 回総会議事録

日時：平成 20 年 3 月 28 日（金）12：00 ～ 13：00

場所：大阪大学（日本原子力学会 2008 年春の年会 L 会場）

配布資料：

1. 平成 19 年度炉物理部会賞 受賞概要
2. 第 4 回日韓サマースクールの実施について
3. ICAPP 国際会議
4. 平成 19 年度決算案
5. 平成 20 年度炉物理部会運営委員交代（案）
6. 平成 20 年度予算案
7. 炉物理部会 平成 20 年度夏期セミナーの開催予定（案）
8. 「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」特別専門委員会 設立申請書（案）

議事：

（進行 平成 19 年度 代谷部会長）

- 1) 平成 19 年度炉物理部会賞の贈呈（配布資料 1）

代谷部会長（京大炉）より、Sidik Permana 氏（東工大、配布資料 1）に第 1 回炉物理部会賞が贈呈され、表彰状と副賞が手渡された。

- 2) 平成 19 年度活動報告

- 部会長報告

代谷部会長より、以下の活動についての報告が行われた。

- 平成 20 年度（2008 年度）炉物理夏期セミナーの幹事機関がグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンになったことが報告された。
- 平成 19 年 12 月 6 日に「アクチノイド・マネジメントのための炉物理と将来の実験施設」シンポジウムが開催され、シンポジウムの内容が「炉物理の研究 第 60 号（2008 年 3 月）」、pp. 37-41 に掲載されていることが報告された。
- 4 部会合同日韓サマースクール（配布資料 2）が平成 20 年 8 月 6 日（水）～ 8 日（金）に九州大学で開催されること、炉物理部会から運営委員として田淵士郎委員（三菱重工業）、辻雅司委員（北大）を選出したことが報告された。
- フェロー会員として、炉物理部会推薦の平成 17 年度部会長山根義宏氏（名大）が認められたことが報告された。
- 2008 年春の年会企画セッションとして、3 月 28 日 13 時 ～ 14 時半「J-PARC 核変換実験施設の現状と展望」の開催が告知された。
- OECD/NEA パンフレットが 4 月に炉物理部会員へ配布されることが報告され、これに先立って部会員名簿を原子力学会の個人情報管理規程に基づき OECD/NEA へ提供したとの説明があった。
- ICAPP 国際会議（配布資料 3）が 2009 年 5 月東京で開催されることが紹介され、炉物理部会員の積極的な投稿、参加が促された。

- 決算報告（財務小委員会）（配布資料 4）

巽委員（原燃工）より、配付資料 4 に基づき報告があり、了承された。

- 編集活動報告（編集小委員会）

代谷部会長より、2009 年 4 月号として原子力学会 50 周年記念誌が発行されるとの報告があった。

3) 平成 20 年度運営委員の選出（配布資料 5）

代谷部会長より、配付資料 5 に基づき平成 20 年度運営委員（案）の紹介があり、了承された。

（進行 平成 20 年度 松村部会長）

4) 学会委員会報告

- 部会等運営委員会報告（部会等運営委員）

岩崎委員（東北大）より、秋の大会の企画セッション案および部会活動報告を学会事務局へ早期に提出するよう要請があった。

5) 平成 20 年度の活動について

- 平成 20 年度予算案（財務小委員会）（配布資料 6）

巽委員より、配付資料 6 に基づき報告があり、了承された。原子力学会が社団法人から公益法人へ移行するに当たり、部会として経理上考慮すべき課題（繰越金の扱いなど）について議論が行われた。

- 第 40 回炉物理夏期セミナーについて（セミナー小委員会）（配布資料 7）

肥田副会長および中庶務幹事（いずれもグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン）より、配布資料 7 に基づき平成 20 年 8 月 4 日（月）～6 日（水）に第 40 回炉物理夏期セミナーが箱根で開催されること、銀行口座開設のために 2008 年度夏期セミナー実行委員会要領を作成したことが報告された。

- 日韓合同セッションについて

松村部会長（電中研）より、2009 年春の年会時に日韓合同セッションが開催予定であることが報告された。

- 平成 20 年度部会表彰について

松村部会長より、2008 年秋の大会（9 月 4 日～6 日高知工科大学）時に平成 20 年度炉物理部会賞の表彰を行うことが報告され、スケジュール案が了承された。

6) その他

- 炉物理部会メーリングリストの更新について

須山 HP 担当幹事（JAEA）より、学生の就職などで炉物理部会メーリングリストに登録されてい

るアドレスが変更される場合は速やかに HP 担当幹事へ連絡するよう要請があった。

- 「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」特別専門委員会の設立について大井川氏（JAEA）より、配布資料 8 に基づき、当委員会を設立準備中であり、各機関から多数の参加を期待しているとの報告があった。

- 炉物理に関する自由討論会の提案

松村部会長より、今後の炉物理部会の活動充実に向けた自由な討論会を開催したいとの提案があり、関係者で実施計画（6 月頃、電中研大手町にて）を検討することとした。

以上